

科目名	観光振興論	科目コード	1472	単位数	3
担当者名	山田 勅之	開講セメスター	第5セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	講義	実務経験	無		

●授業のねらい

近年、観光振興を通じて、まちづくりや地域振興を図る動きが活発です。本講義では、様々な地域資源の活用、及び創出の過程を検討します。そこから関連する各方面にどのような影響を及ぼし、またどのような課題があるのかを考察していきます。以上から、国際社会と地域社会に貢献できる人材を目指します。

●到達目標

「観光資源」の利用が経済効果を生むだけでなく、様々な方面に影響が波及することを理解することによって、より良い観光振興、地域振興の方策を考察します。そこから、グローバルな視角を持ちながら、ローカルに密着した振興策を提案できる力を身につけることができます。

●授業内容

- 1週目 ガイダンス：地域振興
- 2週目 歴史的町並みの再生と観光 滋賀県長浜市
- 3週目 歴史的町並みの再生と観光 京都市
- 4週目 都市の再生 神戸・北野異人館
- 5週目 都市の再生 神戸・南京町
- 6週目 アートと観光 金沢21世紀美術館
- 7週目 アートと観光 瀬戸内海離島
- 8週目 「アニメ」で地域振興
- 9週目 「スポーツ」で地域振興
- 10週目 震災復興と観光
- 11週目 観光を通じた先住民族「振興」 アイヌ民族
- 12週目 大学と地域振興
- 13週目 観光地域づくりの舵取り役・DMO 概要と海外の事例
- 14週目 観光地域づくりの舵取り役・DMO 日本版DMO・阿寒湖
- 15週目 まとめ 小論文作成
- 16週目 振り返り・講評。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施できなかった場合は補講授業を行う。

●準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

参考書や関連の文献に基づいて予習を行う（1時間程度）。
 毎授業配布するレジュメの復習をする（1時間程度）。

●成績評価の方法・基準

授業時に実施する小レポート 50%
 小論文 50%

●履修上の留意点

- ・本講義は原則対面授業です（第15週を除く）。LMS（学習管理システム）として、Google classroomを使用します。クラスコードは「fiipbih」です。履修登録完了後、全員Google classroomへの参加手続きをしてください。なお、コースパワーは一切使用しないので、ご注意ください。
- ・連絡事項は大学から支給されたGmailアドレスへ送ります。
- ・遅刻や私語、飲食などの迷惑行為を慎むこと。改善されない場合は不合格となることがあります。欠席は授業への参加度の観点から減点対象とします。毎回配布するレジュメはまとめの小論文作成に必要なため、保管しておくこと。
- ・新型コロナウイルス感染症の流行状況によっては、対面授業+リアルタイムオンライン授業(Web会議ツール：Meet)の同時実施、あるいはリアルタイムオンラインのみ、オンデマンドなどへ移行することがあります。オンライン受講に備えて、IT環境(WIFI、プリンターなど)の整備をお願いします。

●課題に対するフィードバックの方法

レポートや小論文は基準に基づいて3～5段階に評価して返却します。

●テキスト

特になし。毎授業レジュメを配布する。

●参考書

安村克己『観光まちづくりの力学 観光と地域の社会学的研究』（学文社）2090円
 橋本和也『地域文化観光論』（ナカニシヤ出版）2860円

●更新日付

2022/01/29 02:48